2025 年 7 月

スチュワードシップ活動のご報告 (2023 年 7 月～ 2024 年 12 月)

SBI アセットマネジメント株式会社

「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》は、平成 26 年 2 月 26 日に公表されましたが、当社は同趣旨に賛同し、直ちに「スチュワードシップ方針」を公表しております。その後、「スチュワードシップ・コードに関する有識者検討会」において平成 29 年 5 月 29 日に改訂され、さらに、令和 2 年 3 月 24 日に再改訂されましたが、当社はいずれにおいても、その趣旨に賛同しています。

この方針に則り、当社が実施しました、2023 年 7 月から 2024 年 12 月までの活動状況を、以下にご報告いたします。なお、当社は外部委託による運用ファンドが大半を占めるため、当該活動の対象となるファンドは限定されています。

1. 対話取組状況

当社は、「対話を通して企業の成長に貢献する」旨を基本的な考え方とし、社会善となる方法で利益成長することで企業価値が増大すること、ひいては運用するファンドの中長期的な成長につなげていけるよう、対話活動を行っています。当社は、投資先企業の持続的成長及び価値向上に資するため、当社は、財務状態の把握にとどまらず、ガバナンスリスクを含め企業理念や経営陣の人物像に至るまで、総合的な観点からの対話活動を推進しております。

企業との対話の主な視点は以下の通りとなります。

- ・ 日本の成長を支えていくキードライバーがあるか。
- ・ 株主、従業員、取引先への利益配分は適正か(株主や取引先に偏ることなくバランスの良い利益配分が出来ているか)。
- ・ 議決権行使の基本的な考え方(取締役の規模、社外取締役導入の有無、等)に合致しているか。
- ・ コーポレートガバナンスに関する体制は整備されているか。
- ・ 経営課題についての認識と対応策についての確認。
- ・ 事業環境 事業内容に関するリスクを把握しているか。
- ・ 反社会的勢力との付き合いはないか。

2. 議決権行使の状況

議決権は、「[議決権行使方針](#)」に基づいて行使しております。同方針については、年1回の見直し作業を行っております。

株主総会における国内株式の議決権行使については、2023年7月から12月開催分64社、2024年1月から6月開催分319社、2024年7月から12月開催分67社の日本企業に対し議決権を行使しました。株主総会における会社提出議案数については、2023年7月から12月開催分515議案、2024年1月から6月開催分3,403議案、2024年7月から12月開催分536議案あり、このうち反対した議案数はそれぞれ43議案、219議案、33議案となりました。会社提出議案に反対した主なケースは以下の通りです。

- ・ 社外役員としての基準を満たしていない社外取締役及び社外監査役の選任
- ・ 執行と監督の分離・牽制が適正に働いていないため
- ・ ROEが3期連続で5%を下回っているため
- ・ 株式型報酬の譲渡制限が2年未満のため
- ・

株主総会における株主提出議案数については、2023年7月から12月開催分ゼロ、2024年1月から6月開催分33議案、2024年7月から12月開催分ゼロでした。33議案に対し取締役会の意見に賛成し反対しました。株主提出議案に反対した主なケースは以下の通りです。

- ・ 定款一部変更
- ・ 取締役解任

尚、議決権行使結果については、「[議決権行使結果](#)」に掲載しておりますので、ご参照ください。また、議決権行使結果に賛否の理由は公表していません。

3. ESG要素を含むサステナビリティに関する課題への取組みについて

当社は、ESG要素を投資プロセスにおいて、特定の企業を投資対象としないネガティブ・スクリーニングに用いております。また、企業との対話や開示において、(1)株主、従業員、取引先への利益配分は適正か(株主や取引先に偏ることなくバランスの良い利益配分が出来ているか)。(2)コーポレートガバナンスに関する体制は整備されているか。(3)経営課題についての認識と対応策についての確認。(4)事業環境、事業内容に関するリスクを把握しているか。等のポイントをチェックし、ESG要素を含むサステナビリティを考慮しております。

4. スチュワードシップ活動の振り返りと自己評価振り返りと自己評価

企業との対話の実力向上については、形式的・画一的な質問になることなく、企業との対話の主な視点をコアにしつつ、投資先企業の持続的成長と中長期的につながる進めることで日々向上に努めて参りました。

議決権行使結果は、コンプライアンスオフィサーが確認し、必要に応じて改善を勧告するなどの対応を行っています。当期間については、特に問題はございませんでした。

以上